

2023年4月1日現在

東京大学経営協議会学外委員の選考理由

氏 名：森田 朗（もりた あきら）

現 職：東京大学名誉教授
一般社団法人次世代基盤政策研究所代表理事

略 歴：1976年 3月 東京大学法学部 卒業
1976年 4月 東京大学法学部 助手
1981年 4月 千葉大学法経学部 助教授
1994年 4月 東京大学大学院法学政治学研究科 教授
2004年 4月 東京大学大学院公共政策学連携研究部・公共政策学教育部
(公共政策大学院) 教授・部長
2008年 7月 東京大学政策ビジョン研究センター センター長
2012年 4月 学習院大学法学部政治学科 教授
2012年 6月 東京大学 名誉教授
2014年 4月 国立社会保障・人口問題研究所 所長
2017年 4月 津田塾大学総合政策学部 教授
2018年 4月 研究開発法人科学技術振興機構社会技術研究開発センター
センター長（非常勤）
2019年 3月 協和キリン株式会社 社外取締役
2020年 4月 一般社団法人次世代基盤政策研究所 代表理事

経営協議会委員の在任年数：6年

本学との関係（総長、理事等、常勤教職員の経験）：常勤教職員の経験24年

【選考理由】

森田 朗 氏は、本学法学政治学研究科、公共政策大学院において、教授として特に行政学の教育及び研究に尽力し、政策執行研究を日本で実質的に開拓した研究者である。官僚制あるいは行政が行う対外的機能を「社会管理」として捉え、官僚制の内部過程と政策執行活動を中心とする外部過程を包括的に捉える視座を打ち出し、その後の学会に大きな影響を与えている。さらに、専門職学位課程という新たな時代ニーズに応じた公共政策大学院の設置において、文部科学行政における制度設計から、大学側の制度設計に携わり、設置後も初代院長として2期4年にわたり同大学院の経営と教育に邁進された。また、本学退職後も、学習院大学、津田塾大学で教鞭を取られ、国立社会保障・人口問題研究所では所長として運営を担うなど、組織経営の経験も豊富であり、2017年からは経営協議会学外委員として、本学の経営に関する重要事項についての有益な助言を与えていただいている。

以上のように、その経歴から、同氏が経営に関する専門的知見など高い識見を有し、大学法人の経営に広く社会の多様な意見を反映させられるよう意見を述べるとともに、必要な助言を与えられること、本学の理念と目標を共有し、「世界の公共性に奉仕する大学」を目指し、その実現に貢献できること、及び本学と社会のステークホルダーの双方向的な連携を推進し、互いに共通する公共的な利益を追求できるよう尽力する意思を有することが認められる。すなわち、「東京大学経緯協議会の学外委員の選考方針について（令和3年3月18日 役員会決定）」に定める選考方針各号に掲げる事項を全て満たしていると判断できる。